

令和2年度事業報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

はじめに

令和2年2月に新型コロナウイルスの感染者が国内ではじめて確認されました。その後、世界的な感染拡大が始まり、国内でも緊急事態宣言の発令がされるなど、これまで経験したことがない状況に陥ってしまいました。

かほく市においては、新型コロナウイルス感染拡大が大きな社会問題となり、その感染拡大防止のため、4月から市内の小中学校が休校、老人福祉センター等が休館となり、当センターより学校や老人センター関係で就業している会員の就業が中止となるなど、多大な影響を受けました。

これまで当たり前に出ていた人々の生活・日常は、マスクの着用が当然のこととなり、当センターの事業についても、大勢での会合や会食を控えることなど、活動の自粛が要請され、大きく変化しました。

当センター会員数は、令和元年度末が261名、令和2年度末では278名となり、会員数はほぼ計画通りの増加となりました。しかしながら事業実績では、4月から5月まで小中学校の休校や老人センターの休館などもあり、当センターからの会員就業が中止となるなど受注件数・契約金額ともに前年度を下回りました。

尚、令和2年度の事故発生件数は、会員の皆様の理解と協力で前年度に比べ大幅に減少(12→2件)し、また新型コロナウイルスの感染防止の適切な対応により、感染者をだすことなく実施することができました。

令和2年度事業の取り組みに際し、会員及び発注者の方々、並びにかほく市をはじめ県連合会から、多大なるご支援を頂きましたことに深く感謝を申し上げます。以下令和2年度事業実績状況について報告いたします。

事業報告

1. 会員の入会促進と作業マナー向上

- (1) 機関紙及びかほく市広報紙を通じて、入会説明会開催等の周知を図った。
- (2) 「一人の会員が一人の仲間を増やす」をモットーに地域活動や個々の会員勧誘活動を進め会員の入会促進に努めた。(42名入会)
- (3) 講習会等を開催し、作業マナー及び会員の一般教養や資質向上を高めることを企画したが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。
 - ・機関紙発行 (1月6日 新聞折り込み)
 - ・マナー講習会 (2月 感染拡大防止のため中止)

2. 組織活動の活性化

会員が希望する仕事や、参加したい同好会活動、農作物栽培活動、受講したい講習会など、シルバー事業についての意向調査を行い、各推進委員会(安全・適正就業、交流研修、就業開拓、普及啓発、農作物栽培)が中心となり清掃活動を実施し、組織活動の活性化を図った。

- ・会員アンケート調査（1月 276名宛発送）
- ・ボランティア清掃（11月12日 38名参加 七塚中央公園）

3. 普及啓発活動の推進

- (1) パンフレット・チラシ・ホームページ作成等により周知を図った。
- (2) 発注者へのアンケート調査を実施し、新規顧客の獲得や受注件数の増加を図った。
- (3) 市内での各種イベントへの参加、新聞等へのセンター事業の情報提供によりセンター活動の周知に努めようとしたが感染拡大防止のため中止となった。
- (4) 会員と一般市民との交流イベントを実施した。
- (5) センター独自の広報の充実を図った。
- (6) サポート事業の広報を行う。
 - ・会員だより発行（毎月）
 - ・かほく市生涯学習フェスティバル参加（10月 感染拡大防止のため中止）
 - ・お客様満足度アンケート調査（12月に398人(社)へ発送）
 - ・ぶどう狩り体験会の開催（8月8日）
 - ・「シルバー人材センターをご利用下さい」のチラシ発行（3月29日新聞折り込み）

4. 事業拡大と就業機会の拡大、派遣就業の取り組み

- (1) かほく市から日常生活上の援助が必要と判断された市民に対し、市と綿密な打ち合わせを行い、軽度生活支援就業を行った。
- (2) かほく市が実施するふるさと納税事業について、返礼品に『お墓掃除の代行』はどうかという一般質問が市議会定例会にあったという記事が新聞に載り、市役所を訪問し『お墓掃除の代行』の概要をお聞きし、会員アンケートで就業希望者を募ったところ19名の会員がおり、令和3年度からの受託が決まった。
- (3) 就業機会の拡大と担い手の育成を図るため、農作物の栽培講習会を実施した。
- (4) 労働者派遣事業の推進を図り、適正就業に努めた。
 - ・軽度生活援助事業の実施（3名の利用者に対し会員3名で延べ142回）
 - ・農作物栽培の実施（42名参加 ぶどう畑 野菜畑）
 - 栽培品目 デラウエア、玉ネギ、ジャガイモ、ごぼう、サツマイモ、長いも、ネギ、落花生、人参、大根

5. 安全・適正就業の推進

- 安全・適正就業推進委員会を中心として交通安全講習会及び安全パトロールを実施し、安全就業に努めたが合同パトロールは感染拡大防止のため中止した。
- ・市内安全パトロール（9月30日かほく市内4か所）
 - 当センターの安全推進員5名参加
 - ・県警支援シルバードライビングスクール
 - （7月9日・23日 会員24名参加）
 - 太陽自動車学校指導員による高齢者対象の運転診断と安全指導

- ・合同パトロール (9月 感染拡大防止のため中止)
かほく市・近郊3センター・県連合会安全推進員参加予定
- ・交通安全講習会 (2月 感染拡大防止のため中止)

6. 技能・技術講習会の開催

会員や発注者のニーズに対応できる人材育成を目的とした当センターと石川県シルバー人材センター連合会との共催による講習会に参加した。

- ・草刈り機技能講習会 (9月10日 10名受講)
- ・運転技能実技講習会 (10月15日 11名受講)
- ・農作物栽培講習会 (5月18日、6月10日、11月25日 延38名受講)
- ・ドローン講習会 (10月8日 10名受講)
- ・ハウスクリーニング講習会 (6月 感染拡大防止のため中止)
- ・剪定講習会 (6月 感染拡大防止のため中止)

7. 会員の福利厚生と健康管理の向上

- (1) 会員相互の親睦を図るための活動支援は、一部感染拡大防止のため中止した。
- (2) センター会議室を会員のサークル活動等に開放し、支援を行った。
 - ・健康体操教室 (10月 感染拡大防止のため中止)
 - ・健康料理講習会 (12月 感染拡大防止のため中止)
 - ・パソコン教室 (R2年6月～R3年3月 3～8名参加 毎月2回)
 - ・卓球愛好会 (R2年6月～R3年3月 4～8名参加 毎月2回)

8. 中長期計画の実績評価

中長期計画について、計画4年目(令和元年度)の実績を中長期計画点検委員会で点検した結果、計画目標に対し、以下の結果であった。

会員数=3.3%減 粗入会率=目標数と同数

就業率の内、請負・委託=9.8ポイント減、派遣=9.6ポイント減

受託件数=7.3%増 受託金額=12%増

尚、不足している剪定・運転業務の会員については引き続き、機関誌やチラシ・会員便り等で会員の入会促進を図ることを協議した。

9. 事務局体制の充実

県連合会などの研修会等に積極的に参加して、多様化する地域社会や会員のニーズに的確に対応できるように職員の資質向上を図った。

特に、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、派遣先より就業中止の要請があった派遣就業会員の休業補償について県連合会と協議し、派遣先事業所に対し労働法の説明と遵守の依頼に努めた。

以上